

6 菅生沼自然環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 菅生沼周辺一帯（岩井市，水海道市）
- (2) 指 定 昭和50年12月23日（茨城県告示第1307号）

2 保全計画の概要

(1) 地域の指定

本地域は、菅生沼を中心として周囲はヨシ群落や、ヤブコウジ-スダイ群集、ヒノキ、スギ植生の植生からなっており、優れた自然環境を形成している。これらの区域は、区域内に生存する動植物を含む自然環境が優れた状態を維持している湖沼として、自然環境保全地域に指定し、保全を図る。

(2) 保全すべき自然環境の特質

菅生沼は茨城県の西部に残存する代表的な沼で富栄養型を示し、猿島台地を侵食した谷につくられた沼である。以前は飯沼、古谷沼などいくつかの沼が見られたが、いずれも干拓された水田となっている。

最大の水深は1.0メートル、水温は冬期に約4℃、夏季に30℃になる。透明度は60センチメートルから100センチメートル以上で、沼底が見える所が多く、PHは6.8から8.4である。この沼は、古くからコイ、フナ、ウナギ、カラスガイ等の漁獲が多く、これをもって生業となす者もあった。また鴨を主とする水禽類の猟場として有名であった。

水生植物が豊富で、鳥類、昆虫類も多い。昭和23年の記録では水深2.5メートルが記されているが近年、水位の低下により浅くなりつつあり、沼としては老令化しつつある。

ア 植 物

菅生沼の周辺はマコモ、オギ、ヨシなどの挺水植物が繁茂し、水中にはヒシ、アサザ、イバラモ、トリゲモ、マツモ、コウガイモ、クロモ、エビモ、トチカガミ、ガシヤモク等が生育している。沼岸にはアカメヤナギが多く、本種は茨城県西南部を北限とする植物である。

イ 野生動物

菅生沼に生息する動物相は豊富で、魚類が15科35種類数えられており、中でもヤツメウナギ科のスナヤツメ、カワヤツメは珍しい。

鳥類は34科123種が知られ、カモ類、ガン等の水鳥の種類が多い。分布上珍しいものとしては、イスカ、キバシリ、センダイムシクイ、ノゴマ、トラツグミ、ミソサザイ、ホトトギス、ツツドリ、オオハクチョウなどがあげられる。

蝶類は8科54種で、茨城県内でも分布の少ないミスジチョウが本地域に生息している。

(3) 自然環境の保全に関する基本的な事項

保全施設に関する基本方針

巡視歩道、標識、廃棄物処理施設、植生復元施設、病虫害防除施設、給餌施設、養殖施設等を必要に応じて設置する。

(4) 区域設定に関する計画

自然環境保全地域の区域は、次のとおりとする。

名 称	位 置	区 域	総 面 積	土地所有別 面 積	摘 要
菅 生 沼 自 然 環 境 保 全 地 域 普 通 地 区	茨 城 県 水 海 道 市 地 内 岩 井 市 地 内	茨城水海道市 大字大塚戸町の 一部ほか 茨城県岩井市 大字大崎の一部 ほか	ヘクタール 231.54	ヘクタール 国有地 18.36 公有地 33.64 民有地 179.54	マコモ、ヨシなどの挺水植物とアカメヤナギなど、チョウ類、鳥類など

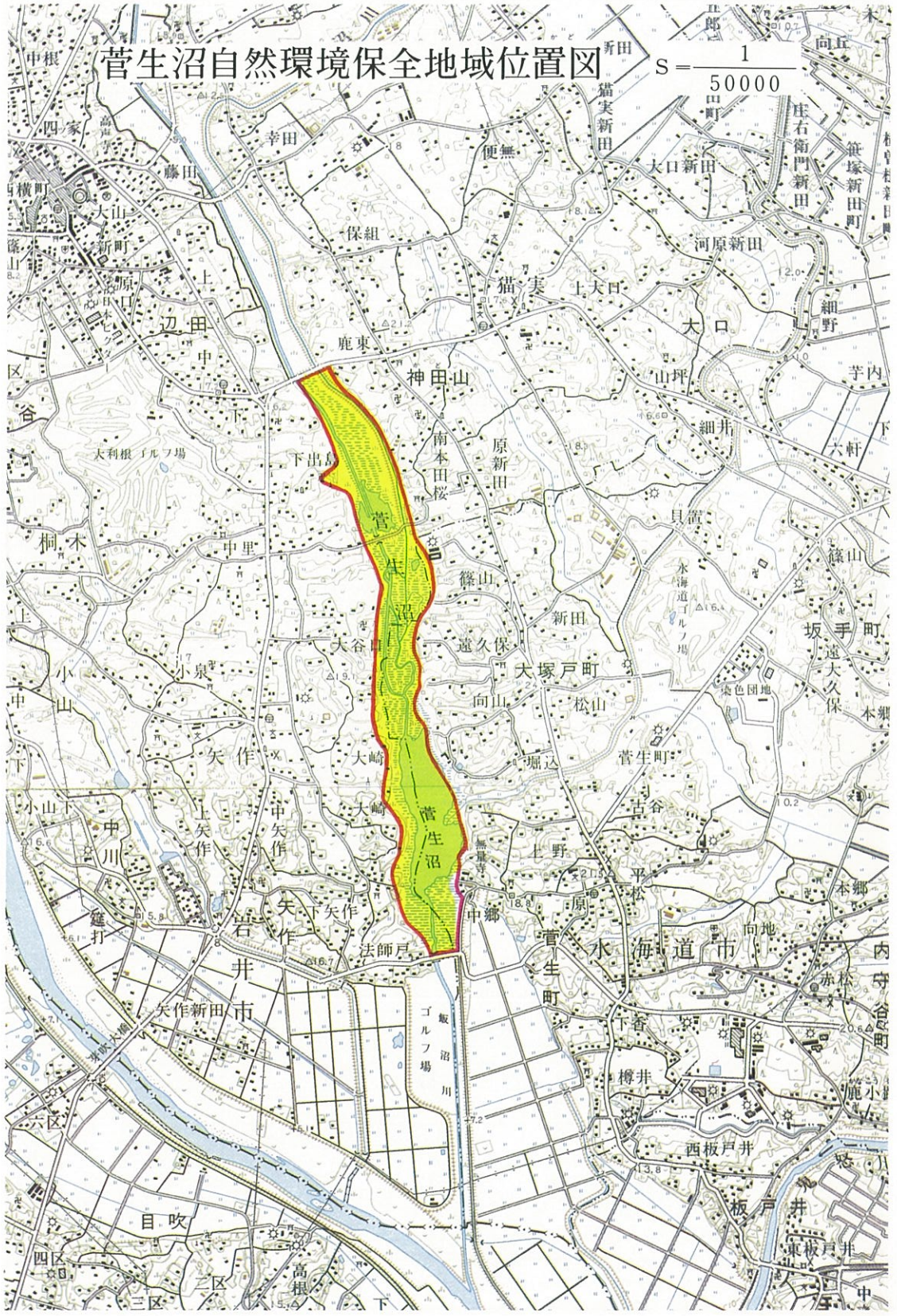
総 括 表

区 分	特 別 地 区									普 通 地 区			合 計		
	野 生 動 植 物 保 護 地 区			そ の 他 の 地 区			小 計			国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地	国 有 地	公 有 地	民 有 地
所 有 別 面 積 (ヘクタール)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18.36	33.64	179.54	18.36	33.64	179.54
地 区 別 面 積 (ヘクタール)	0			0			0			231.54			231.54		
地 区 別 (パーセント)	(0)			(0)			(0)			(100)			(100)		

(面積は図上測定による概算値である。)

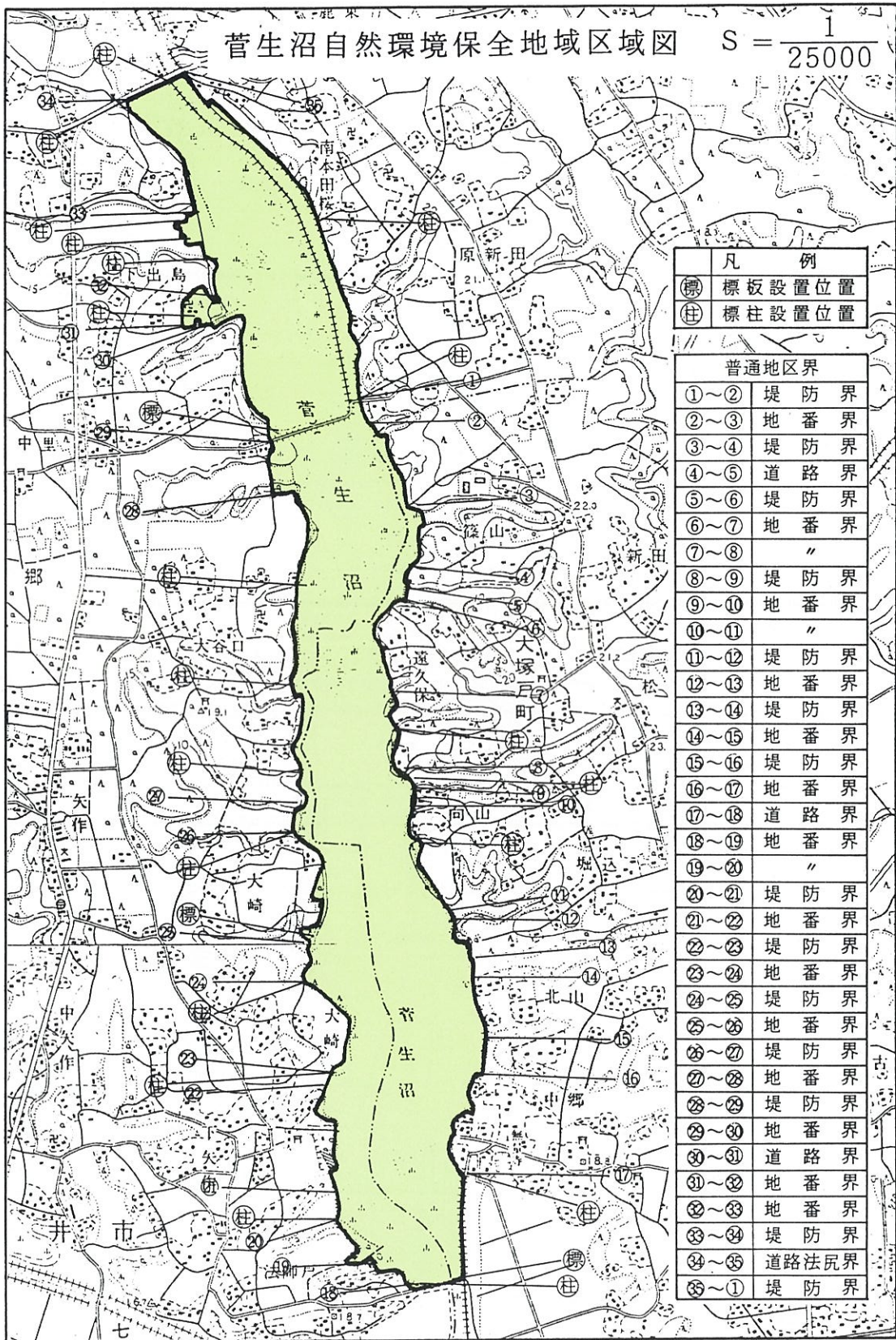
菅生沼自然環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



菅生沼自然環境保全地域区域図

$$S = \frac{1}{25000}$$



凡 例	
(標)	標板設置位置
(柱)	標柱設置位置

普通地区界	
①~②	堤防界
②~③	地番界
③~④	堤防界
④~⑤	道路界
⑤~⑥	堤防界
⑥~⑦	地番界
⑦~⑧	〃
⑧~⑨	堤防界
⑨~⑩	地番界
⑩~⑪	〃
⑪~⑫	堤防界
⑫~⑬	地番界
⑬~⑭	堤防界
⑭~⑮	地番界
⑮~⑯	堤防界
⑯~⑰	地番界
⑰~⑱	道路界
⑱~⑲	地番界
⑲~⑳	〃
㉑~㉒	堤防界
㉒~㉓	地番界
㉓~㉔	堤防界
㉔~㉕	地番界
㉕~㉖	堤防界
㉖~㉗	地番界
㉗~㉘	堤防界
㉘~㉙	地番界
㉙~㉚	地番界
㉚~㉛	道路界
㉛~㉜	地番界
㉜~㉝	地番界
㉝~㉞	堤防界
㉞~㉟	道路法尻界
㉟~①	堤防界